

## 小学校第4学年 音楽科学習指導案

日 時 平成27年9月29日(火) 2校時

指導者 教育センター所員 徳永 星子

1 題材 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」

2 教材 「象」(作曲 サン＝サーンス「動物の謝肉祭」より)

「白鳥」(作曲 サン＝サーンス「動物の謝肉祭」より)

「美しきロスマリン」(作曲 クライスラー)

### 3 題材設定の趣旨

- 本題材では、音楽を形づくっている要素の中の「旋律」に着目し、旋律の特徴や曲想を感じ取りながら音楽を聴き、感じ取ったことを言葉で表したり身体表現をしたりするなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くことをねらいとしている。学習指導要領の内容は「B鑑賞」(1)鑑賞の事項ア、イ、ウ、〔共通事項〕のうち旋律、音色、反復、変化などを扱う。

本題材で取り組む教材「象」は、三部形式の曲である。「はじめ」は、コントラバスの太く澄んだ音色と弾んだ旋律で、大きな象が体を動かして踊っている様子が表されている。「なか」は、曲想が変化してなめらかな旋律となる。「おわり」には再び「はじめ」の旋律が現れるが、ピアノの伴奏部分がアルペジオの演奏になり、コントラバスの旋律がより引き立つ印象となる。

教材「白鳥」は、サン＝サーンス作曲の組曲「動物の謝肉祭」の中の一曲である。ゆったりとした拍の流れにのってチェロの旋律がなめらかに奏でられ、それに寄り添うような美しいピアノ伴奏が印象的な曲である。水面を泳ぐ白鳥の姿を連想させるチェロの旋律に対して、ピアノの伴奏部分は、静かな湖面が波立つ様子を想像させ、白鳥の美しさをよりいっそう際立たせている。

教材「美しきロスマリン」は三部形式の曲である。「ロスマリン」とは、「ローズマリー」とも呼ばれる香り豊かな花を咲かせる植物の名前で、美しい女性を表す時にも用いられる。軽やかなピアノ伴奏にのってバイオリンの弾むような美しい音色が印象的な曲である。「なか」は、ややなだらかな旋律になり、途中ピアノ伴奏がバイオリンの旋律と同じリズムで和声的な響きをもって演奏される。「おわり」には再び「はじめ」の旋律が繰り返され、最後はピッチカートで軽やかな音色を残して曲が終わる。

これら3曲は、旋律が弦楽器、伴奏がピアノで演奏されており、旋律の特徴に着目して知覚・感受がしやすい楽曲である。また、「はじめ」と「おわり」の旋律が反復しているため、〔共通事項〕の反復、変化を取り扱うことができる教材である。

- 国立教育政策研究所が平成20年度に小学校第6学年児童約3,000人を対象に実施した「特定の課題に関する調査(音楽)」では、4つの部分から成る音楽を聴き、どのような様子が表されているかについて記述できた児童が73.9%だったのに対し、その音楽の強弱の変化をとらえて記述した児童は20.8%という結果であった。また、平成24年度に実施した「小学校学習指導要領実施状況調査」では、想像したことや感じ取ったことを指定された音楽の言葉(音色、旋律など)と結び付けて言葉で表し、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いているかを問う問題は、通過率が64.2%であった。しかし、その中で、曲の「はじめ」「なか」「おわり」において想像したことや感じ取ったことが記述されていない部分がある児童が23.4%、想像したことや感じ取ったことと音楽的な特徴を結び付

けて表すことが部分的に十分ではない児童が47.5%という結果であった。これらのことから、音楽を特徴付けている要素や楽曲の構成を聴き取り、それらと関わらせて感じ取った曲想を言葉で表すことに課題がみられることが分かる。

- 指導に当たっては、1時目では、音楽を聴く楽しさを感じ取ることができるように、曲名を知らせずに「象」を聴かせ、曲名当てクイズを行う。思い浮かんだことを自由に発表させることを通して、鑑賞の授業では人によっていろいろな感じ方があることに気付かせたい。また、曲想とその変化を感じ取る活動に進んで取り組むことができるように、「はじめ」を数回聴いた後「なか」を聴かせ、それぞれどんな様子が思い浮かぶか発表させたり、その根拠となる旋律の特徴を考えさせたりする。そして、「おわり」の部分は「はじめ」や「なか」と比べてどういう曲想かを考えさせながら聴かせ、「はじめ」の旋律と似ていることに気付かせる。「はじめ」「なか」「おわり」で曲想が変化することを、児童に分かりやすく伝えるために図形楽譜で確認させる。

2時目では、「白鳥」と「美しきロスマリン」の「はじめ」の部分を聴き比べして、それぞれどんな感じがするか発表させる。そして、そのように感じたわけは何か、旋律の特徴に着目しながら曲を聴かせる。児童から出た意見を基に、旋律の特徴が本当にそうなのか、再度聴き比べながら全員で確かめさせる。次に、3つの図形楽譜の中から2曲の旋律の動きを表すものはどれかを考えさせ、その結果をグループで話し合わせる。自分の考えを友達に伝えたり友達の考えを聞いたりして、その楽譜を選んだ根拠を自分の中で整理させる。グループで考えをまとめた後は、それぞれのグループがどの図形楽譜を選んだか分かるように、「ア」「イ」「×」と書かれた3種類のカードをホワイトボードに貼らせる。その後、実際に曲を流して、旋律の動きを体を動かして確かめながら図形楽譜と合っているかを全員で確認させる。最後に、2曲のうち気に入った曲を選ばせ、「旋律」というキーワードを使ってその曲のよさや面白さを伝える紹介文を書かせる。文を書けずにいる児童には、選んだ曲の旋律の特徴をワークシートで振り返らせ、記述していることを書き方の例と照らし合わせて書くように声掛けをする。

3時目では、2曲の続きを聴かせ、楽曲全体の構造について聴き比べをさせる。1時目に学習した「象」の構造がA-B-A'の三部形式だったことを振り返らせた後に、2曲の「なか」と「おわり」をそれぞれ聴き比べさせる。聴き比べを通して、2曲とも「おわり」に「はじめ」の旋律が繰り返されていることに気付かせたい。最後に、2曲の共通点と相違点を入れた紹介文を書かせる。楽曲の構造に着目して書くことができるように、文に「旋律」「はじめ」「なか」「おわり」というキーワードを入れるように伝える。書くことが苦手な児童には、「音楽を表すことば」を掲示したり書き方の例を示したりして、自分の思いや意図を文章に書くことができるようにしたい。書いた紹介文はグループで紹介し合うようにする。自分の考えを伝えたり友達の考えのよさに触れたりすることを通して、自分の考えの幅を広げたり交流活動のよさを感じられるようにしたい。

#### 4 題材の目標

- 旋律の特徴や曲想とその変化を感じ取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさに気づき、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みとの関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴く。

## 5 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①「象」の楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	①「白鳥」と「美しきロスマリン」の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。 ②「白鳥」と「美しきロスマリン」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。

## 6 本題材で位置付ける〔共通事項〕 (ア)音楽を特徴付けている要素, (イ)音楽の仕組み

〔共通事項〕		本題材における具体の姿
(ア)	旋律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「象」：象の踊る姿を表す、弾んだ旋律</li> <li>・「白鳥」：白鳥の様子を表すなめらかな旋律と、水面の波の様子を表す伴奏の旋律</li> <li>・「美しきロスマリン」：「はじめ」と「おわり」の弾むような旋律と、「なか」のややなだらかな旋律</li> </ul>
	音色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「象」：象の踊る姿を表すコントラバスの太くて低い音色</li> <li>・「白鳥」：チェロの音色</li> <li>・「美しきロスマリン」：バイオリンの音色</li> </ul>
(イ)	反復	・「はじめ」の旋律が「おわり」でも繰り返されていること
	変化	・「はじめ」と「なか」で旋律の特徴が変わること

## 7 指導と評価の計画(3時間)

時	ねらい(○) 学習活動(・)	評価規準(◆)	評価方法
第1時	○曲想とその変化を感じ取って聴く。 ・「象」の「はじめ」を聴き、曲名を予想して発表する。 ・「はじめ」を聴き、思い浮かんだ様子やその根拠となる旋律の特徴について発表する。 ・「なか」を聴き、思い浮かんだ様子やその根拠となる旋律の特徴について発表する。 ・2種類の図形楽譜のうち、「はじめ」と「なか」の旋律の動きを表すものはどれか考える。 ・曲の「おわり」を聴き、気付いたことを発表する。 ・曲の紹介文を書く。	◆「象」の楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。  【関一①】	行動の観察 発言の内容
	第2時	○2曲の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴く。	

<p>(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「白鳥」と「美しきロスマリン」の「はじめ」を聴き、どんな感じがするか、また思い浮かんだ様子などを発表する。</li> <li>・感じ取ったことの根拠となる旋律の特徴を、聴き取って発表する。</li> <li>・3つの図形楽譜の中から、2曲の旋律を表した楽譜はどれか、グループで話し合う。</li> <li>・2曲のうち1曲を選び、その曲の気に入ったところやよさを紹介する文を書く。</li> </ul>	<p>◆「白鳥」と「美しきロスマリン」の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。</p> <p>【鑑—①】</p>	<p>ワークシートの記述 発言の内容</p>
<p>第3時</p>	<p>○2曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2曲の続きを聴き、思い浮かんだ様子やその根拠となる旋律の特徴を聴き取って発表する。</li> <li>・楽曲の構造で気付いたことを発表する。</li> <li>・2曲の共通点と相違点を入れた紹介文を書く。</li> <li>・グループで、書いた文を紹介し合う。</li> </ul>	<p>◆「白鳥」と「美しきロスマリン」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。</p> <p>【鑑—②】</p>	<p>ワークシートの記述 発言の内容</p>

## 8 指導目標(2/3)

「白鳥」と「美しきロスマリン」の聴き比べを通して、音楽を形づくっている要素の関わり合いから想像したことや感じ取ったことを言葉に表したり体で表現したりして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。

## 9 指導の視点

2つの曲の聴き比べを通して、旋律の特徴や曲想の違いを感じ取りながら音楽を聴くことができるようにする。また、3つの図形楽譜の中から、2曲の旋律の動きを表したものはどれか選ぶ活動を通して、聴覚と視覚を関わらせて音楽を形づくっている要素や構造をとらえさせる。なぜその図形楽譜を選んだのかをグループで話し合わせ、自分の考えに深まりが出たり、友達の考えのよさに気付いたりすることを通して、より旋律の特徴や曲想の違いを感じ取ることができるように考える。最後に、2曲のうち気に入った1曲を選ばせ、その曲のよさや面白さを伝える紹介文を書かせる。「音楽を表すいろいろな言葉」や書き方の例を示したり、旋律の動きを体で表現したりすることを通して、書いたり話したりすることが苦手な児童も言葉で表すことができるようにする。

10 展開

過程	学習活動	教師の指導(○)・支援(●)	評価規準と評価方法
導入	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の学習内容を知る。</p>	<p>○「象」の曲想が「はじめ」と「なか」で違うことと、「おわり」は「はじめ」の旋律が繰り返されていることに触れる。</p> <p>○2曲の聴き比べをすることを伝える。</p>	
展開	<p>3 2曲の「はじめ」の部分の聴き、感じたことを発表する。</p> <p>4 2曲から感じ取ったことの根拠を、旋律の特徴に着目しながら聴き、発表する。</p> <p>5 3つの図形楽譜の中からどれが2曲の旋律を表すものか、グループで考える。</p>	<p>○2曲それぞれを聴いて感じたことをワークシートに書かせ、発表させる。</p> <p>○友達の発言に共感した時は、赤鉛筆でワークシートに付け足していくようにする。</p> <p>●全く書けていない児童には、「音楽を表すいろいろな言葉」から自分が感じたことに近い言葉を探して書くように伝えたり、書き方の例を示したりして、考えさせる。</p> <p>○なぜそのような感じがするのか、音楽のどんなところからそう感じたのかを考えながら聴くように伝える。</p> <p>○聴き取った音楽的な特徴をワークシートに書かせるようにする。</p> <p>○旋律の動きを身体表現し、2曲の違いを体感しながら、旋律の特徴をつかませる。</p> <p>●全く書けていない児童には、「音楽を表すいろいろな言葉」を参考にして書くように伝えたり、旋律の音色や速度がどうだったか尋ねたりして、聴き取りやすい音楽的な特徴を具体的に示すようにする。</p> <p>○3種類の図形楽譜を配布し、2曲の旋律の動きを表すものはどれか、まずは自分で考えさせた後、4人グループで話し合うように伝える。</p> <p>○グループの考えがクラス全員に分かるように、グループごとに3種類のカードを用意しておき、ホワイトボードに貼るようにする。</p> <p>●話し合いが進まないグループには、なぜその図形楽譜を選んだのか尋ねたり、旋律の動きを体で表現したりして旋律の特徴の違いを確かめさせる。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">2つの曲のきき比べをして、曲のよさやおもしろさを感じ取ろう。</p>

展 開	6 2曲から1曲を選び、曲の紹介文を書く。	<p>○「旋律」というキーワードを入れて書くことを伝える。</p> <p>○「音楽を表すいろいろな言葉」を掲示したり、書き方の例を示したりする。</p> <p>●文を書けずにいる児童には、選んだ曲の旋律の特徴をワークシートで振り返らせ、記述していることを、書き方の例と照らし合わせて書くように声掛けをする。</p>	<p>◆「白鳥」と「美しきロスマリン」の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。</p> <p style="text-align: right;">【鑑一①】</p> <p>【ワークシートの記述、発言の内容】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>おおむね満足（B）と判断する目安</b></p> <p>「旋律」という言葉を使って、楽曲から感じ取ったことやその根拠となる旋律の特徴を書いたり、発言したりすることができている。</p> </div>
まとめ	7 次時の内容を知る。	○次時は、2曲を最後まで聴くことを伝える。	

《参考文献》

- ・ 文部科学省 『小学校学習指導要領解説 音楽編』 平成20年8月
- ・ 国立教育政策研究所 『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校音楽】』 平成23年11月
- ・ 国立教育政策研究所 『特定の課題に関する調査(音楽)調査結果』 平成22年7月
- ・ 国立教育政策研究所 『小学校学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点(音楽)』 平成27年2月